

地球惑星科学委員会 IGU 分科会 IAG 小委員会（第 26 期・第 1 回）

議事要旨

日 時：令和 6 年 4 月 14 日（日）17：00～19：00

会 場：オンライン会議（ZOOM）

出席者：（敬称略・名簿順）

小口 高、久保 純子、齋藤 文紀、長谷部 徳子、岩橋 純子、小口 千明、小玉 芳敬、島津 弘、羽田 麻美、八反地 剛、早川 裕弐、春山 成子、目代 邦康、若狭 幸、藁谷 哲也（計 15 名）

欠席者：（敬称略）

片岡 香子、鈴木 康弘、倉茂 好匡、松四 雄騎（計 4 名）

* 委員総数 19 名のうち 15 名の出席により会議は成立した。

議事：

（1）委員の紹介、委員長・副委員長・幹事の選出

小口委員（前期委員長）より、開催の辞とともに、本小委員会の説明と、委員の紹介があった。また、久保委員を委員長に推薦する旨の説明があり、承認された。

久保新委員長より、副委員長として小口委員、幹事として早川委員・岩橋委員がそれぞれ推薦され、承認された。

（2）議事要旨の提出に関する委員長一任について

久保委員長より、議事要旨作成に関する説明があり、承認された。

（3）小委員会委員間のメールアドレス共有について

久保委員長より、メールによる連絡について説明があり、このための小委員会委員間でのメールアドレス共有について承認された。

（4）IAG の動静について

小口副委員長から、本年 4 月 9 日に開催された役員会議の議事次第に基づき、IAG の動静について以下の説明があった。

- 2026 年 NZ 大会について、時期が 1 週間早まっていること、また会場が 2024 年末までに決められるよう検討中であることが報告された。
- 2025 年 RCG ルーマニア大会（ティミショアラ）について、時期は 9/16～9/18 であると報告された。
- IAG の会費について、若手支援を目的とした National Scientific Member (NSM) の会費の値上げの意見聴取があったことが報告された。あわせて、ISC と IAG との関連について説明があった。また、IAG の会費値上げについては反対の姿勢とすることを確認した。
- アフリカのガボンが新加盟した。
- ロシアの国としての参加は以前からサスペンド中であり、イスラエルについての対応が検討中であることが報告された。
- ワーキンググループについて、Coastal Geoarchaeology が新規に立ち上がったことが報告された。
- IAG HIGHLIGHTS について説明があった。とくに、International Geomorphology Week についての統計報告と東アジアのウェビナーについて報告された。
- IAG と他の学術組織 (IUGS (国際地質科学連合)、INQUA、IGU、AGU、ICL) との関係の現状について説明があった。
- 東ユーラシア国際ワークショップ 2024 (10/7～10/12、松江) について、齋藤委員及び長谷部委員より説明があった。
- Elsevier 社からの新ジャーナルについて、human impact などのテーマで提案ができないか検討中である旨説明があった。

(5) 今後の対応について

小口副委員長から、学術会議での小委員会のあり方等について説明があった。

- 小委員会は年 2 回、期中 6 回の開催を目指す。次回は 9 月を目処とする。
- IAG の会費については日本地形学連合が支払うことが承認された。

(6) その他

- 議事要旨の確認作業について確認された。
- 小委員会のメンバーについて、関連分野から男女比を鑑みつつ今後追加する可能性を検討する。

以上